

カナダ



July

あなたのにゅーたうんKANADA

まだまだ現役!!

「人と人との和、
ふれあいを大切に」をモットーに
手話の会、ケランドゴルフ、ゲートボール、そして農業にがんばる

和田 勝馬さん(79才) 東金田

緊急!! 島原救援カンパ

雲仙普賢岳の火砕流により被害をうけ、今もその恐怖の中で頑張っている島原市民・被災者の皆さんへの救援カンパを全町をあげてとりこんでいます。6月21日、町議会で救援カンパ決議もあり、上金田行政区、金田町陶芸教室は先日、カンパを送りました。また役場でも町長以下全職員がカンパをしました。

ご協力をおねがいします。

日本列島が危険な「ゴミ」に

リサイクルは

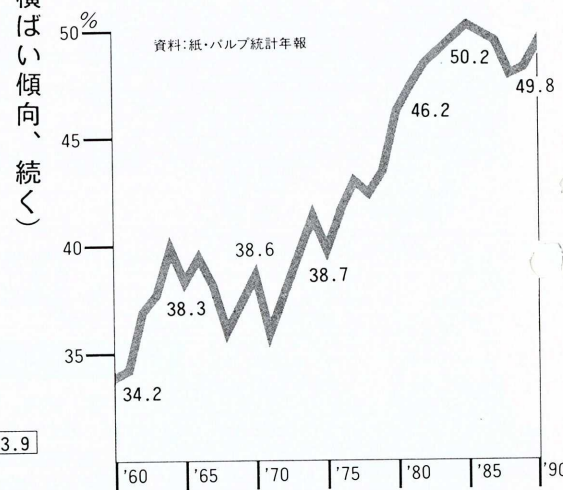
史上空前といわれる経済発展を遂げた日本に、刻々と破滅の時が迫るゴミだ。わたし達はあまりに無計画にゴミを作り出し、あまりに無秩序汚物まみれになり、機能をマヒさせていく姿かもしれない。

靴やワイシャツ、洗剤などの箱、ダンボールなどをゴミとして捨ててしまっているのではありませんか。こうしたものもリサイクル可能な資源になります。また、禁止品(ポリ袋、発泡スチロール、銀紙、ビニール、ガムテープ、カーボン紙、樹脂加工紙、油紙、ろう紙、アルミ箔、ポリ加工紙、不織布、セロハン、

分別回収

その際、新聞は新聞、雑誌は雑誌というように、古紙を分別してから回収に出すようにしましょう。これは紙の性質上、新聞は新聞に、雑誌は雑誌に生まれ変わることを前提からです。

●古紙回収率の推移



(横ばい傾向、続く)

合成紙、感熱紙(FAX用紙)、感熱発泡紙などと呼ばれる布、ビニール、ゴム類、木片などを古紙と一緒にしないことも大切です。わたしたちのちょっとした手間で、再生される紙の品質を守る

環境を守るのは、台所から始まります。

●世界主要国の国民1人当たり紙消費量(1989年)

国名	消費量(kg/年)
アメリカ	303.9
スウェーデン	229.1
日本	222.7
カナダ	222.6
スイス	215.3
フィンランド	212.0
ドイツ	209.7
デンマーク	204.7
オランダ	203.5
ベルギー	197.9

●古紙はどのように分類

種類	例示	分類方法
新聞	新聞紙	ヒモで十字にしぼる。
雑誌	週刊誌、月刊誌、単行本	ヒモで十字にしぼる。
段ボール	ミカン箱、家電用の箱	平たく伸ばして、まとめてしぼる。
ボール(紙箱)	靴、ワイシャツ、洗剤の箱	平たく伸ばして、まとめてしぼる。

集団回収

とともに、古紙の原料としての価値を高めるのです。ところで、「回収に出そうとしても、回収業者がいつ来るか分からないし、それまで家の中に置いておく場所もない」という声をよく聞きます。そこでお勧めし



たいのが地域での集団回収です。同じ地域に住む人達が、一定の時間と場所を決め、回収業者に引き渡すというもので、これなら古紙などが確実に回収されますし、家庭での整理もしやすくなります。左の写真は、6月2日に上金田子供会が「リサイクル大作戦」として廃品回収をしたときの古紙の山です。この子供会は、十数年前より、年に三回ぐらい行っているそうです。行政区の協力により、回収板・放送などで周知徹底し、収益金は、子供会の活動費に充てられています。

埋まる!?

地球を救う(II)!

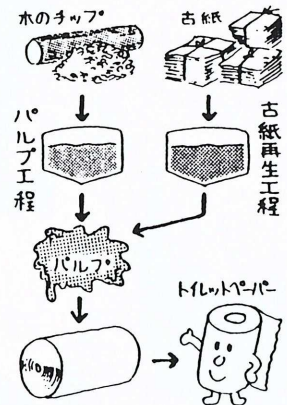
ているらしい。それをもたらすものは、湾岸戦争でも石油危機でもなくにゴミを捨てている。わたし達が見る20世紀末の光景は、都市も自然も

古紙

「古紙一トンは、直径14cm、高さ8mの立木20本分に相当する」といいます。これまで紙のリサイクルは森林資源の有効利用と製紙原料の確保といった面から行われてきました。しかし、最近ではゴミ処理問題や、省エネルギーの面からも、リサイクルの必要性が叫ばれています。

古紙のリサイクルはゴミ軽減にも一役買う

ところで、なぜ紙のリサイクルが、ゴミ処理の問題と関係があるのでしょうか。答えは簡単です。ゴミの中に占める紙の割合が高いからです。紙をゴミとしてではなく、資源として回収できれば、その分ゴミを減らすことができます。ゴミの軽減はゴミ処理経費の節約にもつながります。また、紙をつくるときに



使われるエネルギーの節約つまり紙のリサイクルの省エネ効果についてみてみましょう。紙の原料となる、パルプをつくるには、木のチップや古紙に水や薬品を加え、加熱する必要があります。木のチップからできるパルプをバージン・パルプ、古紙からつくるパルプを古紙パルプといいます。古紙パルプはバージン・パルプの約40%のエネルギーで生産することができます。言い換えれば、箱もののティッシュペーパー4000個を生産するのに、原油にしてドラム缶一本分(約173ℓ)の燃料節約になるのです。

ここ数年、伸び悩む古紙の回収率・利用率

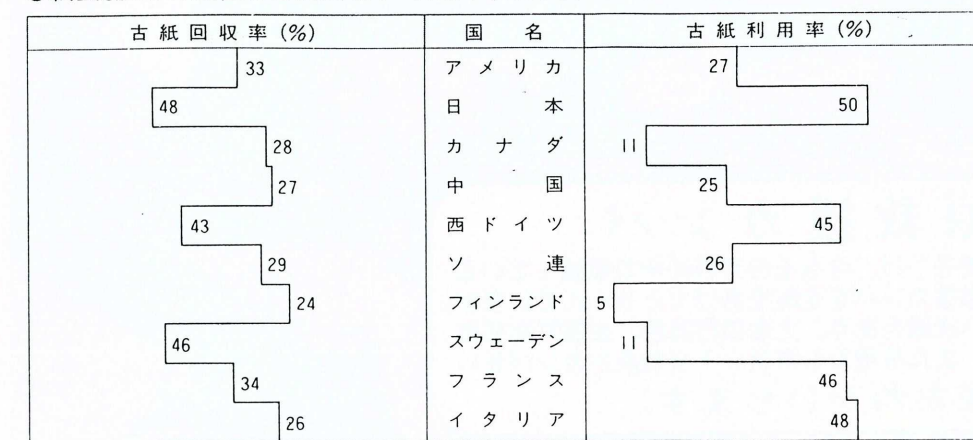
ここで、日本ではどのくらい紙が再生利用されているのか、紙のリサイクルの現状をみてみましょう。

新聞や雑誌だけが回収の対象ではない

紙のリサイクルの役割は、いまややはりしれないものとなっています。そこで、古紙をゴミにせず、大切な資源としてリサイクルするために、わたしたちにできる

紙は、社会や経済の発展生活文化の向上に伴い、用途が多様化し、紙全体の消費量も年々増え続けています。特に、情報紙と呼ばれるコピー用紙やコンピューター用紙、ファックスの感熱記録紙などの需要の伸びが、ここ数年、著しいのが特徴です。そこで日本では紙の原料に、古紙を約50%利用して資源の有効活用に貢献しています。これは、紙の消費大国であるアメリカの約2倍、世界でもトップレベルです。昇をみせていた古紙の回収率、利用率ともに、ここ数年、横ばい傾向が続いているのが現状です。

●紙生産上位10カ国の古紙回収率・利用率(1989年)



(日本、トップレベル)

ことは何なのかを考えてみましょう。古紙の回収をもっと進めていくにはどうすればよいのか。それには日ごろから、新聞や雑誌だけが、古紙資源でないということを心がけておくことが肝心です。